

連結損益計算書

(単位:億円)

区分	2022年度	2021年度	増減
営業収益			
高速道路事業	9,373	12,952	▲ 3,578
料金収入	7,296	6,772	523
道路資産完成高	2,050	6,145	▲ 4,095
その他	27	34	▲ 6
関連事業	397	344	53
SA・PA事業	269	212	57
その他の事業	127	131	▲ 4
計	9,770	13,296	▲ 3,525
営業費用			
高速道路事業	9,402	12,872	▲ 3,470
道路資産賃借料	5,158	4,715	443
道路資産完成原価	2,050	6,145	▲ 4,095
管理費用	2,193	2,011	182
関連事業	373	372	1
SA・PA事業	252	244	7
その他の事業	120	127	▲ 6
計	9,775	13,244	▲ 3,468
営業利益(損失▲)			
高速道路事業	▲ 28	80	▲ 108
関連事業	24	▲ 27	51
(うちSA・PA事業)	17	▲ 32	49
計	▲ 4	52	▲ 56
経常利益	16	79	▲ 63
当期純利益 ※1	3	66	▲ 62

※1 「当期純利益」には、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。
 ※2 億円未満は切り捨てて表示しています。

主要な経営指標等の推移

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
営業収益 (億円)	10,783	10,870	9,309	13,296	9,770
経常利益又は経常損失(▲) (億円)	129	96	▲ 32	79	16
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(▲) (億円)	98	65	▲ 65	66	3
純資産額 (億円)	2,124	2,205	2,170	2,260	2,335
総資産額 (億円)	13,950	13,804	16,438	16,483	20,278
1株当たり純資産額 (円)	2,234.61	2,319.51	2,282.47	2,377.74	2,456.53
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(▲) (円)	103.32	68.76	▲ 69.12	69.82	4.13
自己資本比率 (%)	15.2	16.0	13.2	13.7	11.5
自己資本利益率 (%)	4.8	3.0	—	3.0	0.2

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を2021年度の期首から適用しており、2021年度以降に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標となっています。
 2. 2020年度の自己資本利益率については、親会社株主に帰属する当期純損失が計上されているため、記載していません。
 3. 億円未満は切り捨てて表示しています。

連結決算実績の解説

1. 高速道路事業

●管内の高速道路の通行台数は、対前期7.8%増の293万台/日となり、料金収入は、対前期523億円(7.7%)増の7,296億円となりました。

〔新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の2020年3月期と比較すると、通行台数は2.7%減、料金収入は339億円(4.3%)減となっています。〕

●道路資産完成高は、新名神高速道路6車線化事業の一部完成(甲賀土山IC~甲南IC)などがありましたが、徳島南部自動車道(徳島JCT~徳島沖洲IC)の開通などがあった前期からは4,095億円減の2,050億円となりました。

なお、道路資産完成高は、道路建設にかかった経費と同額の債務を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構(以下「高速道路機構」といいます。)に引き渡すため、道路資産完成原価と同額となり、営業利益に影響しません。

●高速道路機構に対する道路資産賃借料は、対前期443億円増の5,158億円となりました。

●管理費用は、前期に比べて安全・安心のための構造物補修費用の増加、電気代高騰及び雪氷対策費用等の増加により対前期182億円増の2,193億円となりました。

●高速道路事業の営業利益(損失▲)は、対前期108億円減の▲28億円となりました。

2. 関連事業

●SA・PAの飲食物販店舗売上高は、対前期208億円(32.6%)増の849億円となり、SA・PA事業の営業収益は、対前期57億円増の269億円となりました。

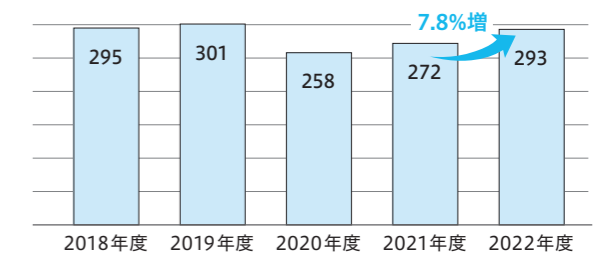
〔新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の2020年3月期と比較すると、SA・PAの飲食物販店舗売上高は113億円(11.8%)の減となっています。〕

●SA・PA事業の営業利益は、対前期49億円増の17億円、関連事業全体では対前期51億円増の24億円となりました。

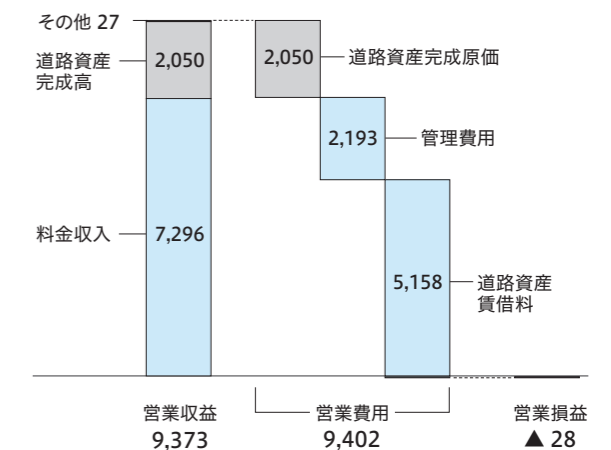
3. 全事業

●当期純利益は、対前期62億円減の3億円となりました。

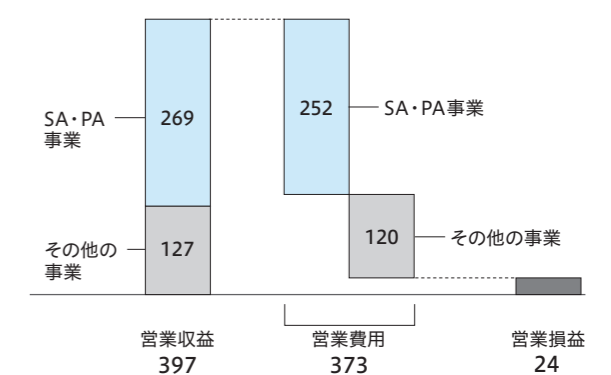
高速道路通行台数の推移 (単位:万台/日)



高速道路事業の損益 (単位:億円)



関連事業の損益 (単位:億円)



※ 億円未満は切り捨てて表示しています。

IR情報

